

FileMaker Server 15の 新機能と改善点

2016/05/30

INTER-Mediator勉強会2016-#3

松尾篤（株式会社エミック）

Agenda

- FileMaker Serverについて
- FileMaker Server 15の新機能と改善点
- FileMaker Server 15の変更点

FileMaker Serverについて

FileMaker Server



FileMaker Server

- FileMakerデータベースの共有・公開を行うためのサーバーソフトウェア
- バックアップ機能を標準搭載
- SSL/TLSに対応、Open DirectoryやActive Directoryを使用した認証やWeb公開機能等も利用可能

インストールも管理も簡単



さまざまな共有方法

- FileMaker Pro / FileMaker Go で接続
- Web ブラウザーで接続
- ODBC / JDBC 経由で



FileMaker Server 15 の新機能と改善点

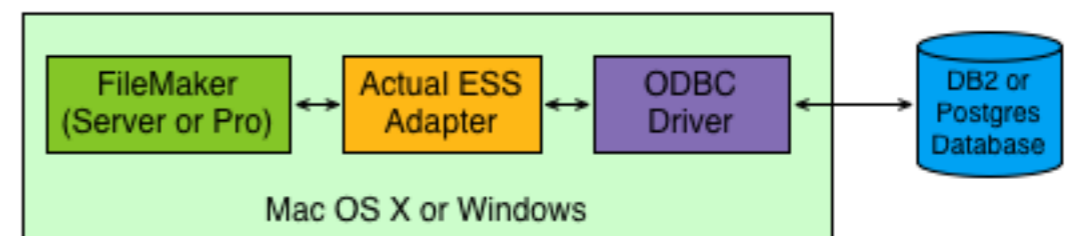
FileMaker WebDirectが スマートフォンをサポート

- デスクトップやタブレットに加えて、
スマートフォンのWebブラウザーに対応



ESS アダプタ

- 外部SQLデータソースにライブ接続する
ESS機能を拡張
- Actual Technologies社の**Actual ESS Adapter**（有償）を利用することで
PostgreSQLおよびIBM DB2に対応



パスワードで保護された データベースのみをホスト

- 完全アクセス権のパスワード入力を要求するデータベースのみをホストするように制限されるように (Admin Consoleで制限を解除することも可能)

パスワードで保護されたデータベースを要求

ユーザに完全アクセス権のパスワードの入力を要求するデータベースのみをホストするように、FileMaker Server を制限します。[完全アクセス] アクセス権セットを使用するゲストアカウント、パスワードが空の完全アクセスアカウント、またはパスワードが [ファイルオプション] ダイアログボックスの [次のアカウントを使用してログイン] オプションを使用してデータベースに格納されている完全アクセスアカウントを持つデータベースは、保護されていないため開きません。

パスワードで保護されたデータベースのみをホスト

SSL/TLS関連の改善

- サポートされる認証局および証明書が増える
- 証明書署名要求（CSR）をAdmin Consoleで作成可能に
- 中間CA証明書をインポートできるように

サポートされる認証局 および証明書が増える

- 新しくサポートされた認証局
 - DigiCert、InCommon
 - Comodo EV SSL
- 詳細はFileMaker ナレッジベース（アンサーID：12130）を参照

証明書署名要求（CSR）を Admin Consoleで作成可能に

- 証明書署名要求（CSR）
- SSLサーバー証明書を購入する際に認証局（CA）に送付するファイル
- ファイル名：serverRequest.pem

クライアント認証

FileMaker Server が FileM

FileMaker アカウントの

ファイル表示フィルタ

FileMaker クライアントの

 各ユーザがアクセス

SSL 接続

SSL (Secure Sockets Lay

FileMaker Server バックグ

 データベース接続に証明書署名要求を作成す
細情報を表示するには 国

プログレッシブダウン

プログレッシブダウンロー

バックグラウンドプロセス (OS X) を再起動してこの設定に変更を適用してください。

証明書署名要求の作成



証明書署名要求 (serverRequest.pem) を作成するには、次の情報を入力します。

ドメイン名: *

www.emic.co.jp

会社名: *

Emic Corporation

所属:

Hosting Services

市区町村:

Suginami-ku

都道府県 (正式名称):

Tokyo

国 (2 桁のコード):

JP

サーバーの「CStore」フォルダにはプライベートキーファイル (serverKey.pem) も作成されます。このファイルは証明機関 (CA) から受け取った署名済み証明書ファイルをインポートするときに使用します。以下では暗号化パスワードを設定します。このパスワードは署名済み証明書ファイルをインポートするときに使用します。

パスワード: *

.....

新パスワード確認: *

.....

[作成] をクリックしてサーバーの「CStore」フォルダに「serverRequest.pem」ファイルと「serverKey.pem」ファイルを作成します。

キャンセル

作成

化します。FileMaker Server サ

書のインポート] をクリックし

要求の作成...

証明書のイ

FileMaker Server サービス (Wi

次の手順:

1. [ダウンロード] をクリックして、証明書署名要求 (serverRequest.pem) をブラウザの「ダウンロード」ディレクトリにコピーします。
2. [FileMaker がサポートする証明機関 \(CA\)](#) に連絡して署名済み証明書を購入します。
「serverRequest.pem」 ファイルを CA に送信します。
3. 「CStore」ディレクトリのプライベートキーファイル (serverKey.pem) を安全な方法で保管します。プライベートキーファイルは CA に送信しません。プライベートキーファイルは署名済み証明書をインポートするときに使用します。
4. CA から署名済み証明書を受け取ったら、Admin Console を開いて [データベースサーバー] > [セキュリティ] タブの順に移動し、[証明書のインポート] をクリックして署名済み証明書をインポートします。

新しい証明書署名要求を作成するには、[新規作成] をクリックします。

ダウンロード

新規作成

閉じる

中間CA証明書を インポートできるように

- 認証局が中間認証局を変更した場合にも適切に更新・対応できるように改善
- SSL/TLS利用時には今後のことを考慮するとFileMaker ProやFileMaker Goもバージョン15にすべき

証明書のインポート



証明書をインポートすると、証明機関 (CA) から受け取った署名済み証明書ファイルと証明書署名要求の作成時に作成したプライベートキーファイル (serverKey.pem) が結合されます。

署名済みの証明書ファイル:

参照...

プライベートキーファイル:

参照...

CA から受け取った証明書の種類によっては、中間証明書ファイルも選択する必要があります。

中間証明書ファイル:

参照...

プライベートキーファイル (serverKey.pem) の作成時に暗号化パスワードを設定した場合は、プライベートキーのパスワードを入力します。

プライベートキーパスワード:

キャンセル

インポート

最長呼び出しの 使用状況ログ

- 処理時間がかかっている接続済みクライアントからの呼び出し（最大25件）に関する使用状況情報を取得できるオプション設定
- ログファイル名：TopCallStats.log

— 詳細な使用状況のログ —

データベースサーバー実行中のクライアント接続と最長呼び出しについて使用状況をログします。

クライアント使用状況 ([使用状況] > [クライアント] タブに表示されます)

最長呼び出しの使用状況

fmsadmin コマンドの 新しいオプション

- `certificate import --intermediateCA`
- `certificate delete`
- `enable topcallstats`
- `disable topcallstats`

その他の改善点

- サーバーサイドスクリプトエラーがEvent.logに書き込まれた際にエラーメッセージに行番号が含まれるように
- サーバーで使用されているSSLサーバー証明書に関する情報をAdmin Consoleで表示できるように

ここで紹介していない
新機能や改善点については

- FileMaker Server 15 ヘルプ内にある
「**FileMaker Server 15の新機能**」のページを参照

<https://www.filemaker.com/help/15/fms/ja/>

FileMaker Server 15 の変更点

新しい ライセンスプログラム

- FileMaker Licensing for Teams (FLT)
 - ユーザ数をベースとしたライセンスプログラム
- <https://www.filemaker.com/jp/purchase/license/flt.html>

FLTに含まれるもの

- FileMaker Server 15：1ライセンス
- ユーザ接続ライセンス（購入ユーザ数分の接続ライセンス）
- 5ユーザ接続単位での販売

ユーザ接続ライセンス

- ひとりのユーザは、FileMaker Pro 15 (ユーザ接続用)、FileMaker Go 15、またはFileMaker WebDirectを利用するWebブラウザ、のうち任意のクライアントを使用可能
- ただし、一度に使用できるクライアントはいずれか1つのみ

FileMaker Pro (ユーザ接続用)

- バージョン15で新たに登場
- FileMaker Server 15での認証が必要
 - スタンドアロンでの利用は不可
- 上記以外は通常のFileMaker Proと機能は同じ

FileMaker Pro (ユーザ接続用)

FileMaker Server にサインイン



FileMaker Server への接続が必要です

ライセンスを利用するには FileMaker Server ホストへの接続が必要です。ホスト名または IP アドレスを入力して Return キーを押してください。次にホストされたデータベースまたは FileMaker Server Admin Console アカウントの名前とパスワードを入力してください。

FileMaker Pro を引き続き使用するには FileMaker Server への接続を維持する必要があります。

ホストアドレス:

アカウント名:

パスワード:

キーチェーンアクセスにパスワードを保存

FileMaker Server 接続に関して

- FileMaker Server 接続ライセンスとは、FileMaker Serverに接続するために購入する「同時接続ライセンス」もしくは「ユーザ接続ライセンス」を指す

FileMaker Server 接続ライセンス

- 有償のFileMaker ProやFileMaker Pro Advancedでは不要
- カスタムWeb公開（CWP）では不要
- ODBC/JDBCでは不要

(2016年5月現在)

同時接続ライセンスの 価格変更

- 新規購入価格が値上げされているので要注意
- 2018年5月8日までは旧価格で更新可
(FileMaker 15 プラットフォーム発売前に同時接続ライセンスを購入していた場合)

ライセンスに関するFAQ

- <https://www.filemaker.com/jp/purchase/store/faq-teams.html>
- <https://www.filemaker.com/jp/purchase/license/qa.html>

共有ホスティングは不可

- FileMaker Server 15でソフトウェア・ライセンスが一部変更

“あなたが商業的ホスティングを提供する場合、1顧客に対してのみ各本ソフトウェア・ライセンスへのアクセスを許諾することができます。あなたはあなたがホスティングサービスを提供する各顧客ごとに少なくとも1つのFileMaker Serverソフトウェア・ライセンスを取得しなければなりません。”

(FileMaker Server ソフトウェア・ライセンスより抜粋)

まとめ

関連URL

- FileMaker プロダクト ドキュメンテーション

<https://www.filemaker.com/jp/support/product/documentation.html>

- FileMaker ナレッジベース

<http://www.filemaker.co.jp/kb/>

関連URL

- ファイルメーカー社YouTube公式チャンネル

<https://www.youtube.com/user/filemakerjapan>

まとめ

- INTER-MediatorはFileMaker Server 15をサポート
- FileMaker Server 15ではライセンスの体系や内容が一部変わっているので事前に確認を